

日韓高校生交流

平成24年9月6日(木)・18日(火)の2回、総勢52名の韓国高校生を迎えました。夕方4時から8時までの短い時間でしたが、日本の高校生との放課後を共に過ごしました。

9/6
第1日目

日韓高校生交流事業第1日目レポート



▲予定になかった韓国の文化紹介。流暢な日本語でのプレゼンテーションにびっくり!

▼うちわ作りに挑戦!

▲歓迎のあいさつをするトキワ松学園中学高等学校ボランティア部の寺門運香さん(左)と齋藤渚さん。共に高校2年生。



▲交流イベントをサポートしてくれた学生リーダーの渡邊彩乃さんと川口慧さん。



▲学芸大学商店街でお買い物。学芸大学東口商店街16店と学芸大学西口商店街12店にご協力いただきました。どのお店の方も笑顔で接客してくれました。

買い物

いぎ学芸大学の商店街でお買い物!! みんなお好み焼もお寿司、焼き鳥など日本ならではの食べ物に興味しんしんでした。

食事会

▼都立国際高等学校3年生の山本理沙さん(モスクリーンのポロシャツ)が、両日とも通訳を担当してくれました。



▲班のみんなで楽しくお食事! お互いにいろいろな質問をしてとても盛り上がりました。

学芸大学商店街 お買い物マップ

夕食の買出しにご協力いただいた学芸大学商店街のハングル語版「お買い物マップ」を作成。楽しく買い物をしてもらおうと、為替レートや載せるなど、みんなでアイデアを出し合いました。

ゲーム大会



2人1組になってうまい棒食い競争をしました。日本の高校生のほうが少し時間がかかっていましたか?



▲最後まで日本の高校生のアーチでお見送り。少しの時間でしたが、とても素敵なお見送りが出ができました!

見送り



▲最後にみんなで集合写真を撮りました。この直前までメールアドレス交換などをするくらい、とても仲良くなっていました。



▲開会式に引き続き、能登くん、塚本くんが、閉会式の代表の言葉を韓国語で伝えました。



▲韓国人の高校生にこっそりオリジナルうちわを作りました。どれも気持ちがこもっていて、とても喜んでくれました!

韓国では日本よりも受験競争が激しく、ほとんどの高校生が学校の後に塾に通い、全くとってよいほど遊べないそうです。今回参加した

楽しい企画で、すっかり打ち解けることができ、最後まで別れを惜しんで記念撮影やメールアドレス交換を行い、再会を約束しました。

日韓高校生交流事業に参加して

- 短い時間でしたが、この交流を通して韓国の文化を感じられたと思います。また、韓国の高校生と友達になることができたので嬉しかったです。 廣野 春佳
- 韓国の高校生はびっくりするくらい日本語がペラペラで、自然と会話がはずみ、とても楽しい時間を過ごせました☆ 山下 碧
- 事実上、日本を越えた韓国人との交流をする機会などもう一生ないかもしれない。そんな中で司会まで務めてくれたことは、自分の人生においてとても良い刺激となった。 Noto Mikuma
- 韓国人との交流で様々なことを体験しました。様々な言葉や文化を覚えてもらい、日本の文化の違いなどもわかり、日本と韓国の違いを良く理解することができました。次もこのような企画があったらぜひ参加したいです。 ニワタ ケツペティボラ
- 韓国の学生と夕食を食べたり、ゲームなどで交流したりして、仲良くなりました。韓国の文化も学べました! y.k

●都立目黒高等学校生徒会、トキワ松学園中学高等学校写真部の紹介記事はp.28にあります。

韓国から日韓高校生交流に参加してくれたみんながメッセージを書いてくれたよ。その一部を次のページで紹介!

9/18
第2日目

日韓高校生交流事業第2日目レポート

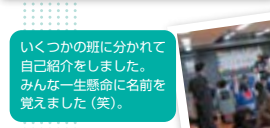
出迎え



▲日本の高校生のアーチで入場! 少しづつくりていきましたがとても喜んでいました。

エイサーの迫力にみんな圧倒されていました。踊っている最中はとても静かで、エイサーの世界に吸い込まれているようでした。

エイサー



いくつかの班に分かれて自己紹介をしました。みんな一生懸命に名前を覚えました(笑)。

チーム分け

